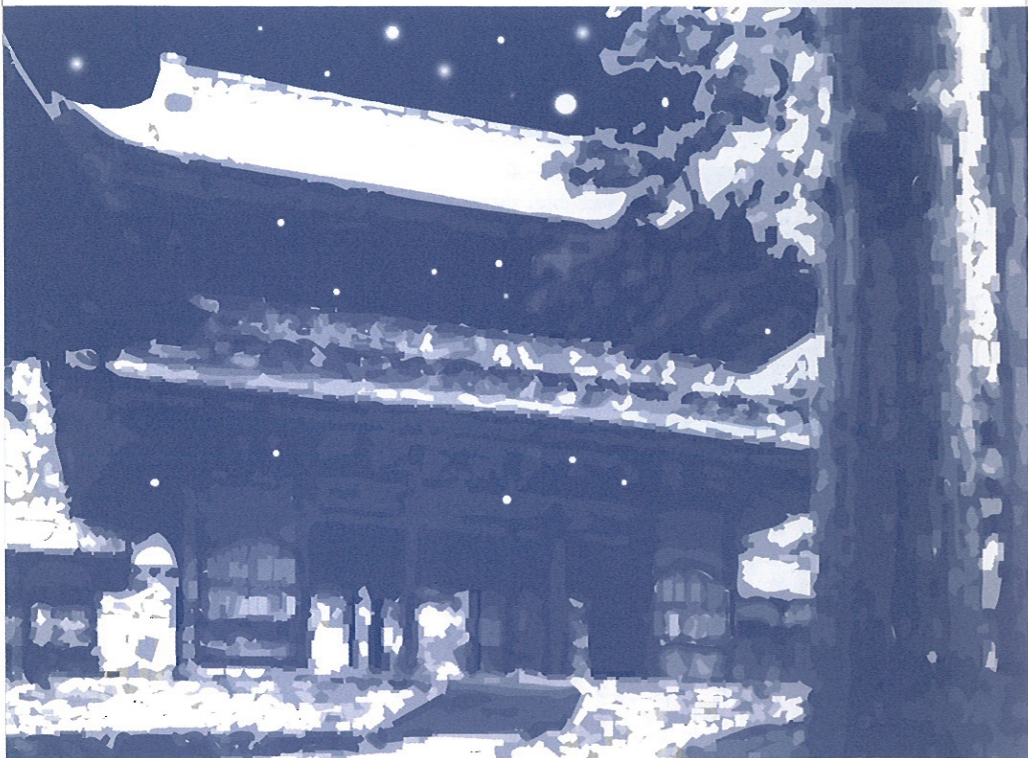


# 遊楽祭

三谷市民文化振興財団ニュース



曹洞宗大本山 永平寺 山門

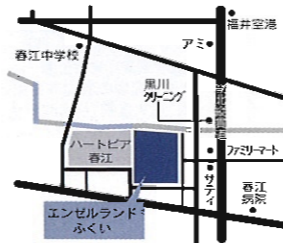
水清うして地に徹し  
魚行いて魚の如し  
空闊うして天に透り  
鳥飛んで鳥の如し  
道元禪師

## 表紙の言葉 ～道元禪師～

みずきようしてらにマッし  
うおひいてうおのごとし  
そらひろうしててんにとうり  
とりとんずとりのごとし  
(正法眼蔵)

心を落ち着かせ、自分自身に心向けると、自分の中の静けさ、充実感、爽やかさを味わえる。それは、清らかな水に泳ぐ魚、天まで高く広く透き通った空に飛ぶ鳥のように澄んだ、明瞭な世界であるといっている

## 福井県児童科学館 「エンゼルランドふくい」



平成11年6月に開館した「エンゼルランドふくい」は、子供たちが宇宙・科学に対する目を養い、様々な文化や自然を遊びながら学べる施設。体を動かしたり、コンピューターや科学実験ができるプレイエリア、宇宙や科学、自然を実体験できる展示エリア、そして、プラネタリウムや全天周映画、音と光の幻想的な世界が楽しめるセンターエリアの3エリアで構成され、大人も子供も一日中遊べるスポットだ。

＜お問い合わせ先＞ 福井県児童科学館「エンゼルランドふくい」  
〒919-0475 福井県坂井郡春江町東太郎丸3-1  
☎0776-51-8000

## 財団法人 三谷市民文化振興財団

〒910-8510 福井県福井市豊島1-3-1 三谷ビル TEL0776-20-3188 FAX0776-25-3911

財団法人三谷市民文化振興財団は、ボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の支援を目的として作られた財団です。毎年5月に助成団体を広く募集しています。この遊楽祭々(毎年1回発行)は、県内で活躍する人やグループ、各地で企画されているイベントを紹介し、ボランティア活動、スポーツ活動、市民活動のネットワーク化、活性化の促進を目的としています。  
<http://www.mitene.or.jp/m-zaidan/>

1999・12月発行

このニュースに関するお問い合わせは、TEL0776-33-7571(株)コミネットまで

## 三谷市民文化振興助成団体 様々な場面で伴々と活動するグループを紹介します。



●美浜町西母親クラブが、お楽しみ会に出張した時の様子。  
連絡先 はらへこあおむしの会 石丸 ☎0770-37-2506

「感受性の強い子供の時期に、より良いものを見たり聞いたりすることは大切なこと。美浜町では、そうしたチャンスが極めて少ないので、自分たちで何とかしたい」と美浜町の母親グループが「はらへこあおむしの会」を発足したのは平成3年のこと。  
毎年1回県外のプロの劇団を招き、演劇公演を企画する。料金の設定からチケットやボスタ、チラシはすべてメンバーによる手作り。町内の保育所、幼稚園、小学校へチラシを配り歩く。メンバーは子供を持つ忙しいお母さんたちがほとんどなので、時間をやりくりし、少ない時間で手際よく準備を進めていく。  
町の文化祭や保育所、母親クラブのおたのしみ会では、パネルシアターの自主公演を行い、子供たちの人気を集めている。  
「はらへこあおむし」は絵本のタイトル。「いろいろなものを吸収して、最後にはきれいなチヨウチヨに育って欲しい」そんな願いが育ち始めている。



●平成11年10月に行われた交流会でゲームを楽しむメンバー。  
ハレバレ会 下坂 ☎0770-21-5053 E-mail: simosaka@land.hokuriku.ne.jp  
<http://www.comica.com/harebare/index.html>

小脳とその周辺の神経細胞が変性し、次第に体の各部の運動した動きがとりにくくなり、言語障害もでてくる難病「脊髄小脳変性症」。会長の下坂さんがこの難病を発病したのは約20年前。「家に閉じこもっていても何にもならない」と患者の福祉増進、前向きに生きていくための意識のレベルアップを目的に「ハレバレ会」を発足した。  
現在、患者会員は25名、ボランティア20名。バーベキュー大会や親睦旅行、リハビリ学習会や交流会など幅広い活動を行っている。  
「患者相互家庭訪問」では、患者自身が、外出が困難な患者宅を訪問。「同じ病気ということで悩みや問題が理解しやすく、助言もできる。気兼ねなく何でも話せるので、つい訪問時間が長くなってしまふ」と下坂さん。  
原因不明の病気のため不安感に襲われ、家に閉じこもる患者も多い。「一人で悩まず、仲間と語り合い、明るく暮らしてほしい」と患者の参加を呼びかけている。活動をサポートしてくれるボランティアも募集中。

子供たち、そして地域社会へ豊かな心を届けたい  
はらへこあおむしの会 (美浜町)

交流を通し、仲間と語り合い、明るさを取り戻す  
ハレバレ会 (敦賀市)

CULTURAL PRESS

ふくいニューイヤーコンサート2000  
1/9 (日)  
福井市文化会館 (福井市春山)  
「高橋雅章とグループ雅」の琴や大正琴の演奏、もんしろうちょう、シャイニングハーモニー、ヴォーチェアールなどの女性合唱、福井室内管弦楽団などの演奏会が催される。無料ドリンクサービスもある。  
14:00～ 一般1,000円、高校生以下無料  
(問) フルーツパン  
■0776-26-2424

森の作家とその仲間たち展  
1/15 (土)～2/27 (日)  
金津創作の森アートコミュニティAM1 (金津町宮谷)  
国内はもとより海外に向けて、さらに活躍のステージを広げている作家たち。画家、染色、陶芸、ガラス、竹細工など、創作の森入居作家7人と入居作家の推薦者による計16名の未発表作品などを展示する。  
大人300円、高校生以下無料  
(問) 金津創作の森 ■0776-73-7800



水仙まつり  
1/16 (日)～2/6 (日)  
越前町・越前村・河野村  
福井県の県花でもある水仙の花が、海岸一帯に美しく咲き乱れる1・2月。3日村にて、特産品即売会や水仙の切花の無料サービスなどの様々なイベントが催される。  
(問)  
越前町観光協会 ■0778-37-1234  
こしの観光協会 ■0776-89-2210  
河野村観光協会 ■0778-48-2240



ロンドン・モーツァルト管弦楽団  
1/26 (水)  
ハーモニーホールふくい大ホール (福井市今市町)  
イギリスの数ある室内オーケストラの中で、最も長い歴史を誇るロンドン・モーツァルト管弦楽団の公演が実現。9月に華麗なる「ハーモニーホール」デビューを果たした高木裕美がピアノ協奏曲のソリストとして参加する。  
19:00～ S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、C席1,000円  
高校生以下半額  
(問) ハーモニーホールふくい  
■0776-38-8288

モノから学ぶ博物館の実験展  
2/5 (土)～3/12 (日)  
福井県立博物館 (福井市大宮)  
モノから歴史を解明する意味とその楽しさを紹介する。モノの発見から展示までの過程を「モノをみつけたす(発見)」「モノを調べる(分析・復元)」「モノを並べて、見せる」の三つのコーナーから、ビジュアルに分かりやすく展示する。  
(問) 福井県立博物館  
■0776-22-4675

奇祭「アッポツシャ祭り」  
2/6 (日)  
越前村  
この日の夜、大きく見開いた目と耳まで選けた口が描かれた真っ赤な鬼の面をつけた男たちが、家々の玄関を叩きまわす。秋田県のなまげに似たこの行事は、「サツクリ」という作業服を纏った男たちが、茶釜の蓋をたたき、「アッポツシャー、アッポツシャー」と叫びながら、行儀の悪い子を脅かすという伝統行事。  
(問) 越前村役場 ■0776-89-2111

ハートピア春江2000  
「初笑い 笑福亭仁鶴独演会」  
2/19 (土)  
ハートピア春江 (春江町西太郎丸)  
上方落語協会の副会長を務め、T.Vなどでも人気、あたたかみとウィットのある司会でおなじみの笑福亭仁鶴が門弟を連れての落語独演会。  
18:30～ 大人2,500円、高校生以下1,500円 (当日500円増)  
(問) ハートピア春江  
■0776-51-8800



今谷焼きワーク  
3/1 (水)～4/5 (水)  
きのこの森陶芸館 (大飯町鹿野)  
大飯町で須臾器を焼いていた黒の遺跡が発見されたのをきっかけに、地元の色土原土を材料として、新たに焼きはじめた今谷焼き。国内外からの作家による創作活動・登り窯焼成・野焼きなどの現場を実際に見ることが出来る。  
(問) きのこの森陶芸館  
■0770-78-1713

少女漫画の世界展  
3/3 (金)～3/26 (日)  
福井県立美術館 (福井市文京)  
池田理代子、大島弓子、木原敏江、成田美名子、萩尾望都、美内すずえ、山岸涼子、羅川真里茂の8作家による原画、イラストレーションなど資料約270点から、少女の夢や憧れの内面史を探る。一般800円、大生500円、小中生300円  
(問) 福井県立美術館  
■0776-25-0451

ベルリン・フィルハーモニー  
シャルンアンサンブル  
3/5 (日)  
ハーモニーホールふくい (福井市今市町)  
世界オーケストラ界の最高峰、ベルリン・フィルの中で最も変化に富み、意欲的な室内楽団と称されるシャルン・アンサンブルが5度目の公演を行う。ゲストにフルートのエマニュエル・パユが参加。



14:00～ 全席自由4,000円、小中高生半額  
(問) ハーモニーホールふくい  
■0776-38-8288

王様の秘密

3/8 (水)  
ハートピア春江 (春江町西太郎丸)  
名作童話「王様の耳はロバの耳」が、美しく幻想的な装置、躍動感あふれる振付など、表も新たにファミリー・ミュージカル「王様の秘密」として生まれ変わった。真実の姿を見る目、真実の声を聞く耳、そして何よりそれを語る勇氣。忘れてかけていたものを思い出させてくれるとっておきのミュージカルだ。  
18:30～ 全席指定席大人4,000円、中学生以下2,500円 (当日ともに500円増)  
(問) ハートピア春江  
■0776-51-8800



第15回永平寺参道マラソン  
3/12 (日)  
永平寺町  
曹洞宗大本山永平寺の修行僧たちがたどった旧参道を、残雪を眺めながら作務衣姿の修行僧(雲水)たちとともに全国から集まったランナーが走り抜ける。北陸を代表するマラソン大会。開祖道元禅師の教え「禅の道」を参加者に体験してもらおう。  
申込期間12/22 (水)～2/18 (金)  
(問) 永平寺マラソン実行委員会事務局  
■0776-63-4222

文楽みくに特別公演

3/19 (日)  
みくに文化未来館 (三国町神明)  
壱の部は、牛若丸と弁慶の出会いをモチーフにした「五條橋」と「新版歌祭文」より野崎村の段。夜の部は、男女の機微が涙を誘う「桂川連理橋」より帯屋の段と道行蔵の桂川。太夫の音遣いと三味線の間拍子の微妙な相違、そして人形の動きで見せる文楽の醍醐味を堪能できる。  
14:00～ 18:30～ 3,800円 (当日4,300円)、昼夜通し6,800円  
(問) みくに文化未来館  
■0776-82-7200



マスクプレイミュージカル  
「ブレーメンの音楽隊」  
3/27 (月)  
福井市民福祉文化会館 (福井市春山)  
グリム童話で知られている「ブレーメン

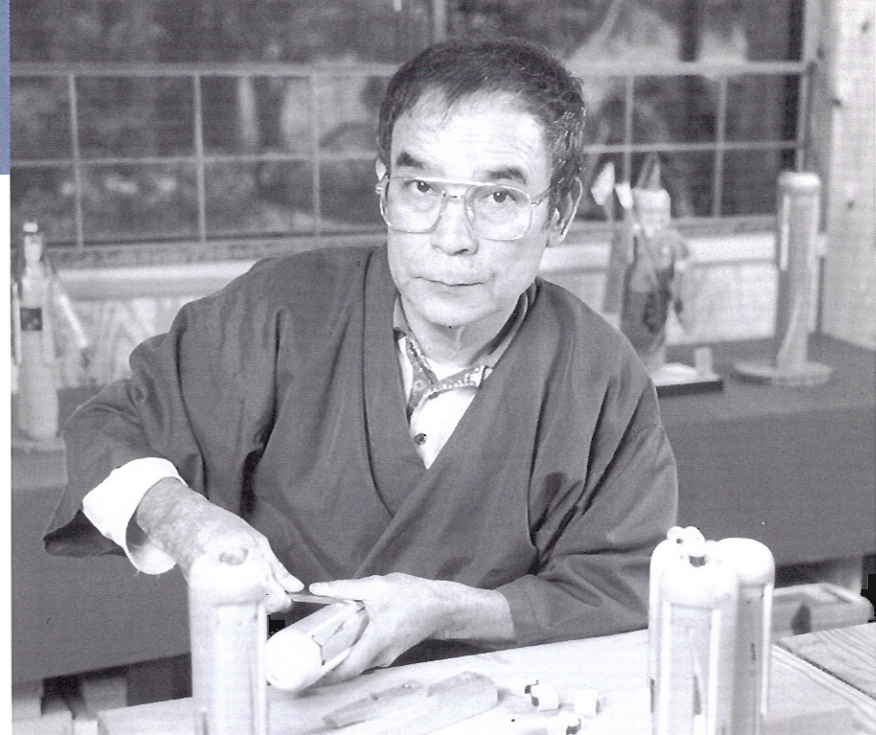
の音楽隊」の物語を、楽しくそしてスリリングに演じる。親子で楽しむマスクプレイミュージカル。  
11:00～ 14:00～ S席3,000円、A席2,500円、B席2,000円、C席1,500円 (3歳以上有料)  
発売受付1/20～  
(問) 劇団飛行船  
■052-971-5656



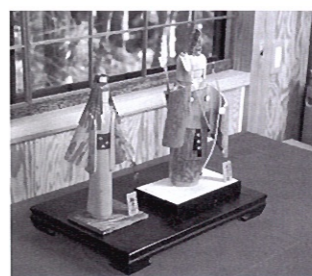
越前漆器まつり  
5/3 (水) 4 (木)  
越前漆器伝統産業会館 (鯖江市西袋町)  
1500年の歴史と伝統を誇り、塗り重ねた光沢に、優雅な美を感じさせる越前漆器。実演コーナーや大漆器市、まき絵などの漆器の装飾技法にチャレンジできる。また、ステージイベントでは「唐沢あさこの歌謡ショー」などが催される。  
(問) 越前漆器協同組合  
■0778-65-0030

松任谷由美コンサート  
6/30 (金) (予定)  
福井フェニクスプラザ (福井市田原町)  
全国5都市で開催されたイベント・ライブ「シャングリア」も35万人動員と順風満帆なユーミン。彼女がホールツアーを行うのは15年ぶりだとか。アリーナとは違った魅力のステージを堪能できる。  
18:30～ 全席指定7,350円  
(問) キョードー北陸  
■076-262-6777

恐竜エキスボふくい2000  
7/20 (木)～9/17 (日)  
勝山市長尾山総合公園  
メイン会場の勝山市長尾山総合公園では、広大な約10haの敷地に県立恐竜博物館(仮称)のほか、4つのゾーンを設定し、体験型展示や物産市、ワールドバザールなども盛りだくさん。サブ会場の大野市では、滑遊ウォークラリーや夜も楽しめるイベント、和泉村では、自然とふれあい和泉村の味に出会えるプログラムもある。  
普通入場券第1期前売券 大人2,200円 (当日2,500円)、高校生1,300円 (1,500円)、小中学生900円 (1,000円)  
(問) 恐竜エキスボふくい2000実行委員会  
■0776-21-0010



●プロフィール  
やまだ のぶお/竹細工師。1942年福井県生まれ。79年日本竹細工協会に入会し竹細工の道に入る。89年師田村(現)氏に師事し竹人形作りを始める。94年工房を設立し、以後創作人形を次々と発表する。3年前に竹細工会を結成し、職人同士の親睦のほか、講座を開講し、竹細工の普及に努める。



水土勉の小説「越前竹人形」で一躍全国に知られるようになった越前竹人形。竹の自然美を損なわず素材をいかし、人形に表情、そして息吹を吹きこんでいく。素材で穏やかな表情の中に、力強さを感じ、年月を重ねるたびに竹がめくめく変化し、豊かな風合いを増していく。そんな越前竹人形をつくる竹細工師の山田信雄を訪ねた。

竹細工に魅せられて約20年。「小さい頃から竹馬や竹とんぼなど竹製のおもちゃが大好きで、いつも竹のおもちゃと遊んでいた」という山田さん。江戸風や竹とんぼを学び、自然と竹人形の世界に進む。

竹人形は作品やパーツによって竹を使い分ける。素材となる竹選びには吟味を重ねる。厳しい寒さに耐えた良質の真竹や孟宗竹など竹本来の素材のほか、竹の子を型に入れ変形させたり、節を挿え付けて模様をつけたり。百年以上用炉裏によって蒸し焼きにされた菅葺き屋根からできたあめ色も美しいすず竹や自然に変形したものなど、竹の種類は実に様々。

竹人形は各パーツを組み立てていくため、カットには細心の注意を払う。頭の丸みや着物の柔らかな美しい曲線を描くため、全神経を集中し、永年の力を頼りに描いていく。一寸の狂いも許されない。顔に表情が加えられ、魂を吹き込まれた作品は、氏の素朴で繊細な感性があらわれている。「竹人形は顔と胴体のバランスで作風がガラリと違い、一体一体から作家の個性がうかがえます」

山田さんの竹細工への情熱は、竹人形だけでなく、まらな。京都にある盆石の家の家を訪れた際、盆の上の石と砂で表現された枯山水の庭にみられた世界に出会い、盆の上に山野草や生花をあしらったミニチュアの竹細工のつくばいや竹垣等を添えて庭の「わび」「さび」を表現する「盆庭」を考案する。「小さな盆の上の世界が広がる」と盆庭の普及と共に講座も開講している。

1月には創作の森で活躍中の7人のアーティストたちと仲間展を開催する。「ここには様々な分野で活躍するアーティストがいます。彼らと交流を深め、各分野の技法を取り入れてみたいですね。例えば、陶芸の焼き方を学びます竹を作り出すとか。そして今までにない独自の竹人形を作り出したい。氏の竹細工への情熱はふくらむばかりだ。

様々な分野の手法を学び、新しい竹人形の形を作り出したい  
山田信雄 NOBUO YAMADA